

続。お姉ちゃんが弟のお世話を
するのは義務なんです。



成人向
18禁
FOR ADULT ONLY

続
お姉ちゃんが弟の
XXXをお世話するの
巻末はです。



●前回のあらすじ●

あるところに、病的なまでにブラコンをこじらせた、華ちゃんという女の子がいました。

そのブラコンっぷりには
華ちゃんのお友達香織ちゃんも
クッソ呆れ返るほど。



←これが弟のユキくん。



ある日、華ちゃんが
家に帰ると、弟が
姉の昔の制服を着て
オナニーしていました。

これには華ちゃんも
びっくりしました、が
それ以上にブラコンの血が
彼女をトチ狂わせました。

早い話が、「やったぜ、これをきっかけに弟とセックスだ！」
ということです。
わかりやすい。



可愛らしい弟のすけべ姿に華ちゃんはめろめろ。
とにかくもう後先考えずに
エッチしました。



その行為は翌日の夕方まで続き、
学校を無断欠席した華ちゃんを心配して
家まで訪れた香織ちゃんに
弟とのすけべ現場を目撃されて
しまいます。

香織ちゃん、ドン引きです。

色々タグの外れたこの姉弟がその後、
どうなったのか……

これはそういうお話です。



●この本でえっちなことをするひとたちα●



華 (はな) ちゃん

お姉ちゃん。
弟のことが大好き(性的な意味で)
見た目は今時のキラキラしたJKだが、
元々は黒髪で地味な印象であったところを
友達にあしたの方がいい、こうした方がいいと
言われ続け「じゃあやるー」と軽い感じで
受け入れ続けた結果こうなった。
弟にも好評だったので、おおむね満足している。
中身はふわふわした感じの天然色濃厚。

念願であった弟との性行為を果たし、
請れて恋人同士となったことで幸せ大絶頂。
恋人が出来た、ということはクラス中に
知れ渡ってはいるが、
その相手が弟であるという事実を知っているのは
友人の香織だけである。

弟とえっちなことをするようになって、
また一回りおっぱいが大きくなった。



雪 (ユキ) くん

華ちゃんの弟。
女の子のようであるが、ちゃんと男の子。
かなりのお姉ちゃんっ子で昔からずっとべったり
だったが、最近は少し姉への態度に変化が見られる
ようになり……

そんな変化が麗を差し、姉の昔の制服やばんつで
オナニーしていたところを姉に目撃され、
あろうことか全て受け入れられた上で
姉と恋人同士となった。

姉からのお願いもあり、家では普段着として
姉のお古の服を着るようになった。

以前はクラスの女子と話をするのが苦手な傾向に
あったが、姉とそういうことになってからは
そうでもなくなり、むしろ今では
男子と会話することに若干の抵抗を覚えるように。



香織 (かおり) ちゃん

華ちゃんの友達。
友人の凶行を陰ながら見守り応援するいい子。

彼女自身は何度か彼氏が出来ては別れ、を繰り返している
割と、恐らく、普通のJKである。



これは、
僕とお姉ちゃんが

「恋人同士」になって
しばらくした頃の
お話です

今日もいっぱい
出たねえ♪

あれから毎日のように
お姉ちゃんとは…えっちを
して、お姉ちゃんも僕に
とっても優しくしてくれます

それと…
もっと…

どっっ、すつきりした？
気持ちよくおねね
できそ？

とても幸せな日々だけれど…
そのとき僕の中では、
自分でもよくわからない
ちやっとしたものがちやちや
していました

僕のお姉ちゃんは
かわいい。

見た目は綺麗で
大人っぽいけど、
どちらかというと
かわいい人です。

学校での男子からの人気も
あり、毎日のように誰かから
告白をされている、と
お姉ちゃんのお友達
香織さんから聞きました。

でも、その全てを
ハッキリと断り
続けているのだとか

それはきつて…
ううん、絶対、

僕の、ため？
(無言)

綺麗で、優しい人、可愛くて、
子供っぽくて…色んな人にな
ふわふわしてて…

お姉ちゃん
好きです

ほんとに
好きです

絶対だよ？

そんなお姉ちゃん
のことが、
僕は大好きです。

だから、
きっと僕は…

—学校から家に帰ると、僕はまずお姉ちゃんのお古の服に着替えます。

最近の僕の家での普段着は、いつもお姉ちゃんの服です。

そうした方がお姉ちゃんが喜んでくれるから……お母さんも、娘がもう一人増えたみたい、とウキウキしていました。お父さんは……よくわかりません。

僕自身も……あのとき以来、服になってしまっているような気がします。



お家の中だけでも、いつもお姉ちゃんの服を着ることで、僕は……正直、嬉しいです。だってお姉ちゃんは、ずっと僕の憧れだったから。

……これ、あの頃の……

お姉ちゃんのおい、またこんなに……

お姉ちゃんの匂いを
嗅いだだけで……
お姉ちゃんに抱まれてる
と思うと……

……あそこが、
とってちかなく
なってる……

うわ……もう
おっゆどうどう……

……仕方ない、
よね……このままだと
もっと汚しちゃうし

またスカートとばんつ
汚しちゃった……
お姉ちゃんの服を着るだけで
いつもこんな……

一回だけ……なら……
ちよっと、だけ……

なにさしちゃうと
しるのか、エキーン!!



いつからユキくんは
おねーちゃんとの約束を
守れない悪い子に
なったのかな？

ごめんなさ……っ！

お姉ちゃん帰ってくるまで
一人でシチャタメって
置ったよね？



だってこの服、
お姉ちゃんの昔の匂いが
いっぱいするから……っ！

それで我慢
できなくて……

えっ……！？

でも今日のお姉ちゃんは
おだからね？

約束破っちゃう
悪い子のユキくんには
おしおきしなきゃ♪



……そっかー

そうだったね、ユキくんは
お姉ちゃんの匂いがだーい好きな
変態さんだったねえ……♪





ちよつぱり痛いと思っけど

最初だから我慢してね?

えっ!?

なに...

待っ...

わっ、意外すんなり!

なに!?

おっ!

これね、お姉ちゃんがユキくとえつちする前に使ってたお古のバイブだよ

初心者用の細いやつだからそんなに痛くないでしょ?



ユキくんたら
かわいー♪

自分の精液でべったりで
パイプも唾え込んで
離さないなんて



ちゃんとおめんなさい
できたからおしおきは
おしまい

ここからはいつも通り、
お姉ちゃんの優しさたっぷり
ふわとろおま○こでいーっぱい
気持ちいいことじゅうな

うっちゃん
うっちゃん

おしりにパイプ
入ったままで
イったばかりで...

いつもお姉○おま○おせ、
何もかも敏感になってるの、
お姉ちゃんのおま○この中
入っちゃったら……僕……僕……





そーだよー？
 睡えっばなしのおしりの
 バイブに集中しながら
 想像してみて？

今、ユキくんは
 女の子で

お姉ちゃんのおち○ち○で
 ユキくんはおま○こを
 すぼすぼされてるの♪

…それはなんだが、
 僕の中でずっと胸に落ちる
 響きがあつて

ずっと胸の奥のちもや
 していたものが、ずっと
 鳴らていくように

僕が…

お姉ちゃんの…っ
 おち○ち○で…っ

どう？
 そんな気持ちに
 なってきた？

……ああ、そつか。
 僕は、お姉ちゃんみたいにな
 ってもいいんだ。



最近すっかり身も心もオンナノコな
感じでー♪
あれクラスの子たちかな？
全然違和感ないよね！
むしろユキくんが
一番可愛いくない？
香織もそう思うでしょー？

かわいいよねー

ギョー

!?

!?

あー



うわ

あんた弟をどうしたいわけ!?
あれもう
完全に男の娘じゃん!

えー、
でもかわいいよ?

かわいいけどー!
かわいいけどさういう
ことじゃなくて…っ!

だからその…!
ころ、ちゃんと…!

あー!!

ここでは私が前々から個人的にあの姉弟に聞いてみたかったことを
質問していくわ。

正直あいつら見てるとこっちは不安しかないからね……
そのくせ、本人たちはやたら幸せそうだから腹立つっていうか。
自分らの関係がどういふものなのかちゃんと考えてんのかしら。
……そりゃ、まったく考えてないことはないと思うけどさあ。

まあいいや、それじゃ質問開始っと。



Q：今日は腹割って話そうや、親友。
A：え、うん。親友だなんてうれしい♪
私も香織のことだしすぎだよー。

Q：お、おう（照れ）
じゃあまずは……あんた、将来的に弟君とどうなりたいわけ？
結婚できるような関係じゃないってのはわかってるよね？

A：まあ……もちろんそのへんは。
でも結婚するばかりが全てじゃないし、所詮ただの形式なわけじゃない？
そこらへんは別にどーとでもなるかなーって。

Q：まああんたはそう答えるよね……難しい問題だからなんとも言えないけどさ。
でもあの「男の娘」化はどういうことよ。滅茶苦茶馴染んでるじゃん。主に同級生の女子と。
A：ユキくんってね、本人ははっきり言わないけど、女の子になりたい願望があったと思うの。
最初は私のお古の服を着るときとか、えっちな気分目的なのかなーって思ってたけど、
鏡で自分の格好見るときの目がすごいキラキラしててね？
それがなんか、お姫さまに憧れる小さい女の子みたいって思ったのね。

Q：だからその後押しをしたってわけ……？
今じゃそういうのあんまり珍しくないし、それで本人が幸せなんだったらいいと思うけどさ。
じゃあ将来、弟君がめっちゃ筋肉ついていかに男！って感じになっただろうすんの？
A：それはそれでそのときのユキくんだし、私は全然おっけー♪

Q：ほーん（意外）
じゃあクラスの女子とやたら馴染んでるのは？ あんたと同じ趣味の持ち主もいるかもんじゃないじゃん？
あと男子から言い寄られる可能性だって……
A：うーん……でもユキくんはもう、私以外の女の子じゃおち○ち○勃起しないから（確信）
男子からは……まあ……○すしかないよね？（真顔）

Q：いやいやいやいや。
A：お父さんとか最近ちょっと怪しいんだよね……ユキくんの方を見て耳を赤くして顔を逸らすし。
あれは絶対、そういうことだと思うの。

Q：単に父親的に複雑な心境なだけなんじゃない……かなあ……



Q：次、弟君ね。ちょっと質問させてもらってもいい？
A：は、はいっ。よろしくお願ひしますっ。

Q：そんな緊張しなくていいってば（かわいいなあ）
まず最初に……将来的に、お姉さんとはどうなりたい？
A：その……どういう形になっても、一緒にいらればそれで僕はいいです。

Q：うんうん。まあそうだよな。
じゃあちょっと話は飛ぶんだけど……女の子に、なりたかったの？
A：女の子に、というか……お姉ちゃんみたいに、が正しいんだと思います……
最近ずっと胸がもやもやしてたんですけど、あるときお姉ちゃんが僕を
それまで以上に女の子扱いしてくれて……今、僕はお姉ちゃんて、
お姉ちゃんが僕で……って考えたらすごくすっきりしたんです。
……わかりにくくてすみません（べこり）

Q：まあ複雑な話だもんね。しょうがないしょうがない（寛容）
クラスの男女との関係って、やっぱり変わったんじゃない？
A：そうですね……女子の友達が一気に増えましたし、案外自然に僕を受け入れてくれて……嬉しいです。
男子の友達と話してる時より、自然に自分らしくお話できるようになった気がしますし……
友達……というか、男子とはちょっと距離ができたちゃいました。えへへ……

Q：そっか……なんか困ったことあったらさ、これウチの携帯の番号ね？
気軽に相談してきていいからね？ 出来ればお姉さんより先に（迫真）
A：は、はい、ありがとうございますっ（天使の微笑み）

新ユキくんキャラデザ案（没）
今にして思うと、別に没にする必要は
なかったのでは……と（今更）

めっちゃココキくん。
本編では毎回、最後まで
一人で出て来ない
ので。



こう、バストアップで描いたときに
女の子らしい服とばっ見でわかりづらかった
ので……
髪型をもっとアレンジできればこれでも
良かったと思うんですが、
なんとなく髪型は最小限の変化で
抑えたかったのです。

2017年4月30日 発行
印刷会社：PICO様
発行：没後
著者：RYO
URL：http://www.synapse.ne.jp/botugo/
MAIL：ryo5120@gmail.com
or
mayaul@vesta.dti.ne.jp

本書の複製・複写・インターネットへのアップロードを固く禁じます
乱丁・落丁本はお手数ですが上記の連絡先までご連絡下さい

あとがきとか。

なんだこのスペースの狭さは(驚愕)
とかく、書けるだけ書いていきます。

今回は昨年の夏に発行したおねショタ本の
続編となります。
オリジナルで続編というものを出すのは
何気にこれが二度目だったりするのですが、

友人から「これ一冊で終わらせるにはどのキャラも
もったいない」的なことを言われ、
自分でもそう感じることしばしばだったので。
直近の中では一番のお気に入りだったこの子たちの
続編を描いてみた次第です。

既に出来上がったキャラを再び動かすというのは
思いのほか個人的に楽な作業で、
ネタ自体は案外すんなりと決まりました。
というか、決まりすぎました。

この本の内容を含めて、実は三つほど候補がありました。

ひとつは、前作頒布時のおまけペーパーで、
ユキくんと同級生の彼女が出来た疑念に
嫉妬しちゃうお姉ちゃんネタ。
これが一番お話しとしてはまとまりが良かったんですが、
まとまりが良過ぎて「ページ数やばくね？」となったので
見送る形に。

一般漫画向けの内容というか、
エロシーン映えない内容の漫画ってあるじゃないですか。
まさしくあんな感じになってしまったので。

いつかこのシリーズを総集編に載せて出す頃には、
描き下ろしで加えてもいいかな、とは思ってます。
早くても三年後？
忘れてるんじゃないかなあ(確信)

もうひとつは、お姉ちゃんが修学旅行で数日家に帰ってこないという。
すっかりお姉ちゃん中毒になってしまったユキくんが、
その間お姉ちゃんのいない部屋で毎日悶々として、
ようやく帰ってきたお姉ちゃんと溜めに溜め込んだ
性欲をぶちまける、みたいな。

エロ漫画としてはこれが恐らく一番エロくなりそうな
手応えがあったんですけど、
これを表現するには悶々とするユキくんの描写に
どれだけページ数を割けるかが勝負みたいないところがあった。

要は我慢して我慢して、ようやく本能のままに、
みたいなカタルシスが肝なことあるので、
「やべえな、これもページ数バネエぞ」と。

やろうと思えばシンプルにまとめられるとは思んですけど、
コミ1ではここ二年ほど、ちょっと変わった感じの内容の本を
出していることもあり、もう少しこの二人の、
というかユキくんの本質に迫るようなお話でもいいかも、
と思い、今回の内容に落ち着きました。

まあ種かに楽な方を選んだのは認めますが(正直者)
いわゆる、男の娘というジャンルは自分の同人活動の起源
みたいなところがありまして。
あのときは「はびぬす！」というエロゲの二次創作で、
あまり思い切った独自解釈をぶち込むのは躊躇われるところがあり。

せっかくキャラがこういう配置になっているのだから、
ここで踏み込んでみてもいいかなあ、と思った次第でありまして。
おねショタ物で、ショタが女装しているネタがどうして自分は
こんなに好きなのか、という問いに対する回答でもあったり。

エロシーンの頭の丸さみたいなものこのシリーズの特徴だと
思うので、今回も結構はっちゃたセリフが飛び交っております。
こういうのはやりすぎるとギャグエロ漫画になってしまうと
思っているのですが、匙加減が難しかったりするのですが……

今回は、どうですかね。
個人的にはボーダーラインは超えてないと思ってます(迫真)

そんな感じで、
夏は受かっていたらあの銀髪メイドさんが帰ってくる……予定です。
それより描きたいネタが浮かんでしまったら、すみません。
それでは、また来週。

2017年4月某日 RYO

